

地域づくりの基礎知識

神戸大学地域連携推進室を事業本部として実施している「地域創生に伝える実践力養成ひょうご神戸プラットフォーム」事業（文部科学省「地（知）の拠点大学による地方創生推進事業（COC+）」）における成果をシリーズ化して刊行します。

1 地域歴史遺産と現代社会

奥村弘・村井良介・木村修二 編 平成30年1月刊行

地域の歴史や文化を社会的に活用するにはどうすればいいのか... いま日本各地で取り組まれている大きな課題でもある。神戸大学では、阪神・淡路大震災を契機に歴史資料の保全や、自治体・地域団体とともに地域の歴史と文化を守り育てる活動を実践してきた。本書はその具体例を示しながら、魅力ある「地域」と「ひと」を創り出すヒントを紹介していく。

A5判・282p 定価2300円（+税） ISBN：978-4-909364-01-2



2 子育て支援と高齢者福祉

高田哲・藤本由香里 編 平成30年3月刊行

少子高齢化による急激な人口構造の変化に伴い、医療・介護・福祉サービスのニーズは一層高まっている。国民が安心して子どもを生み育てられる社会、豊かな老後を過ごせる社会の実現に向けた取り組みは多数実施されているが、必要な人に適切な情報は届いているだろうか。本書では、少子高齢化の要因と医療・介護・福祉の制度や課題、具体的な取り組みを示しながら、本当に必要な支援とはなにかを探る。

A5判・252p 定価2300円（+税） ISBN：978-4-909364-02-9



3 農業・農村の資源とマネジメント

中塚雅也 編 平成31年1月刊行

農山村にある有形無形の資源をどう活かすか...。地域での実践や研究の「いま」を紹介し、大きな転換期にある「農」の現状と可能性をさぐる。

A5判・292p 定価2300円（+税） ISBN：978-4-909364-04-3



4 災害から一人ひとりを守る

北後明彦・大石哲・小川まり子 編 平成31年3月刊行

災害で人の命を失わず、一人ひとりを守る安心安全な地域社会としていくためには、地域に潜む問題点を見つけ、その問題解決に向かって地域で協力していくことがより一層求められている。本書を通じて、災害時や復興過程において実際に何が地域で問題となり、どのような社会の仕組みのあり方が地域で求められているのかを各地の実情にあわせて考え、ボランティアやまちづくりの実践的な取り組みにつなげてほしい。

A5判・248p 定価2300円（+税） ISBN：978-4-909364-05-0



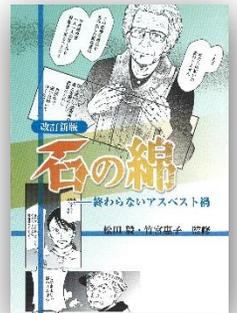
5 イノベーション(仮題) 作成中

改訂新版 石の綿

— 終わらないアスベスト禍 —

松田毅・竹宮恵子 監修 平成30年7月刊行

かつては安価で体にも害はない物質として、広く使用されていたアスベスト。しかし、それは長い時をかけて体を蝕む恐ろしい物質だった…… アスベスト被害の実態、国や企業と闘った人々の姿を描いた『石の綿 マンガで読むアスベスト問題』（かもがわ出版）に、書き下ろしを加えた改訂版。さらに医療や補償、訴訟、リスクコミュニケーション、市民運動など、アスベストを巡る現状を解説したコラムも新たに収録しました。過去を知り、これからの備えるための一冊です。



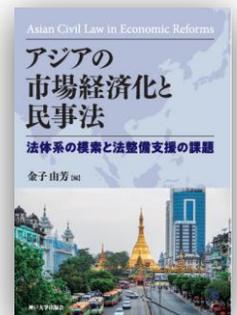
B6判・234p 定価900円 (+税) ISBN : 978-4-909364-03-6

アジアの市場経済化と民事法

— 法体系の模索と法整備支援の課題 —

金子由芳 編 平成31年3月刊行

本書が主な対象とするアジアの市場経済化諸国は、植民地独立戦争で痛ましい犠牲を払い、北爆や内戦で残骸と化した農地で食をつなぎながら子孫を育て、いまやグローバル市場の外圧に翻弄されながら自立した規範秩序を作り上げていこうと努める国々である。そのような諸国の法整備に伴走する国際協力を通じて、日本の法と社会の抱える課題が、逆に映し出されてくるのである。



A5判・328p 定価3,700円 (+税) ISBN : 978-4-909364-06-7